

# 進行・再発 胃癌

## ペムプロリズマブ + SOX療法レジメン

HER2陰性の治癒切除不能な進行/再発 胃癌

< 21日間隔・最大35コースまで >

G-42

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5~14日目	第15日目	第16~21日目	第22日目
治療内容									
検査	採血	○							○
	胸部X線	○							○
診療	副作用の問診	○							○
	検査結果	○							○
治療中止基準	SOX ①WBC 3000未満 ②好中球 1500未満 ③血小板 7.5万未満 ④AST, ALT>2.5×ULN (肝転移は×5) ⑤Cre>1.2×ULN ⑥発熱・CRP上昇、PS2以上 ⑦G2以上の下痢、口内炎、手足症候群	ペムプロリズマブ ①G2以上の肺臓炎 ②副腎クリーゼの疑い ③G3以上の皮膚障害・神経障害 ④AST、ALT>3×ULN ⑤T-Bil>1.5×ULN ⑥Cr>1.5×ULN ⑦G2以上の下痢 ⑧自己免疫疾患の発症疑い							
内服	TS-1初回基準量 1. 25m2未満：40mg/回 1. 25m2以上1.5m2未満：50mg/回 1. 5m2以上：60mg/回 朝夕食後2× 【14日間投与で7日間休薬】	↓ 夕食後	↓ 朝・ 夕食後	↓ 朝・ 夕食後	↓ 朝・ 夕食後	↓ 朝・ 夕食後	↓ 朝食後	休	↓ 夕食後
点滴	①生食50mL 点滴静注【全開】	○							○
	②生理食塩50ml +キイトルーダ 200mg 点滴静注【30分】 フィルター付きルートで	○							○
	③生食50mL 点滴静注【全開】	○							○
	④生食100mL +パロノセトロン0.75mg +デキサート 3.3mg×2A 点滴静注【30分】	○							○
	⑤5%ブドウ糖500mL +オキサリプラチン(130mg/m <sup>2</sup> ) 点滴静注【2時間】	○							○
	⑥生食50mL 点滴静注【全開】	○							○

### 看護のPoint!!

オキサリプラチンによる過敏症症状に注意。呼吸困難感、かゆみ、発赤、皮疹など。

主治医に報告し、次回からファモチジン注とボララミン注の前投与を考慮する（内服でも可）。

オキサリプラチンによって末梢神経障害が起こりやすい。まずは冷たいものの接触を避ける。

末梢からオキサリプラチン投与時、血管痛あるかも。温めてあげたり投与時間をゆっくりしてあげる。

TS-1で口内炎、下痢の可能性もある。持参薬にワーファリンがあれば主治医に報告（TS-1との相互作用あり）

免疫調節薬があるので、免疫関連の副作用が起こる

Infusion reactionに注意

主な副作用は皮膚障害、甲状腺機能低下、下痢、間質性肺炎

下痢の時はステロイドを使用（止痢剤ではない。大腸炎のため）